

名曲の贈り物

国立音楽大学 ブラスオルケスター演奏会

【演奏】指揮：三浦 徹 クラリネット独奏：武田忠善 吹奏楽：国立音楽大学ブラスオルケスター



2009年
9月26日(土)

午後1時開場 1時30分開演

会場 羽村市生涯学習センター
ゆとろぎ大ホール

入場料 大人500円 高校生以下200円
(全席指定)

※未就学児は入場出来ません。保育あり(有料・要予約)

▶ プログラム ◀

G.ホルスト：組曲「惑星」より木星
〔楽器のお話〕

R.ビンジ：コルネット・カリヨン
～マーチ・イン・マーチ～

C.M.ウェーバー：クラリネット小協奏曲
G.ガーシュイン：キューバ序曲 他

※演奏者の都合によりプログラムは変更されることがあります。



主催／(財)青梅佐藤財団

共催／羽村市教育委員会 <http://www.hamura-tokyo.jp/>

後援／青梅市教育委員会 福生市教育委員会

あきる野市教育委員会 瑞穂町教育委員会

日の出町教育委員会 檜原村教育委員会

奥多摩町教育委員会

協力／NPO法人 青梅の青少年を育てる会

ゆとろぎ協働市民の会

チケット取り扱い・お問い合わせ／

◆NPO法人 青梅の青少年を育てる会

☎ 090-5195-3030 npo-sodateru@t-net.ne.jp

◆ゆとろぎ協働市民の会

☎ 042-570-0707 kyodo@hamura-tokyo.jp

チケット発売日：7月21日(火)

※7月22日(水)からは西多摩新聞チケットサービス(フリーダイヤル
0120-61-3737)でも販売致します。



Profile

指揮者：三浦 徹

東京芸術大学卒。安宅賞受賞。ユーフォニアムと吹奏楽の研鑽のため渡米留学。南ミシシッピ大学大学院修了、イーストマン音楽学校に学ぶ。イーストマン・ウィンド・アンサンブルの首席奏者として活躍。帰国後、東京校成ウィンド・オーケストラのユーフォニアム奏者として活躍。東京バリ・チューバ・アンサンブル、ユーフォニアム・カムハニーを創設、教育やアンサンブル活動を通じて、多くの若手を育成し才能を開花させた。国際大会にも数多く招待され、リサイタル、クリニックやコンテストの審査を務める。吹奏楽の指導者として、故フレデリック・フェネルとドナルド・ハンズバーガーの薰陶を最も強く受けている音楽家の一人。現在、国立音楽大学教授、日本吹奏楽指導者協会会員、日本管打・吹奏楽学会常任理事、日本ブラスバンド協会副理事長、国際チューバ・ユーフォニアム協会（ITEC）名誉顧問、元東校成ウィンド・オーケストラ団員、2008年ITECよりLife Time Achievement Award（功労賞）受賞。

クラリネット独奏：武田忠善

1975年国立音楽大学卒業。フランス国立ルーアン音楽院に留学、ジャック・ランスロに師事、同音楽院にて1等賞を得て卒業。77年パリ・ベラン音楽コンクール第1位、78年第47回日本音楽コンクール第1位、第35回ジュネーブ国際音楽コンクールで日本初の入賞を果たし、銅メダルを受賞。古典から現代音楽に至る幅広いレパートリーを持ち、ますます脂の乗った演奏で、既に円熟の域に達していると評価される。国立音楽大学教授、エリザベト音楽大学非常勤講師として多くの逸材を育てる他、04年、パリ音楽院教授ミシェル・アリニヨンの招きに応じて同音楽院においてマスタークラスをおこなう等、正当なフランス派を伝える数少ない演奏家、教育者として注目されている。

吹奏楽：国立音楽大学ブラスオルケスター

本年7月に第50回記念定期演奏会を迎えるなど深い歴史と伝統をもつ国立音楽大学ブラスオルケスターは、その名のとおり「管・打楽器によるオーケストラ」を目標に、前指揮者大橋幸夫と大阪泰久、編曲者藤田玄播のコンビにより、いわゆる「くにたちサウンド」を完成させた。レパートリーは、オリジナル作品はもとより委嘱作品初演、また既存の管弦楽曲編曲作品など広範囲にわたり、レコーディングも1975年ビクター・レコード（5枚）をはじめ、1985年には「グラモフォン吹奏楽大全集」（全30枚）のうち6枚を担当するなど、いずれも内外から高い評価をうけている。

2002年より、指揮者は大阪泰久から、淀彰にバトンタッチされ、さらに新しいレパートリーの追求もなされている。これまでプログラムに15回以上「吹奏楽の源泉シリーズ」を据え、文字通りレパートリーの発掘に努めるなど、この分野での吹奏楽界への貢献も高く評価されている。

現在では、指揮者に新田ユリ、三浦徹も加え、また海外からドナルド・ハンズバーガー、フランソワ・ブーランジエを客演指揮に招聘するなど、さらに陣容を整えた活動を行っている。